

公益財団法人 総合研究開発機構 2012年度 研究事業計画書

2008年のリーマンショック、その後のユーロ危機に起因する世界経済の動揺は未だ収まっていない。根本的解決策を見いだせずにいる欧州当局者の政策対応は、世界経済の先行きに対する不透明感を一層強めている。

こうしたなか、日本は、東日本大震災の発生から間もなく1年が経過しようとしているが、依然として巨大な政府債務を抱え、深い閉塞感に覆われている。

日本が現状から脱する唯一の方法は、改革の実行を通じて、内外の様々なショックにも耐え得る、頑強かつ柔軟な経済社会構造を確立することである。日本が目指すべき姿についての社会の合意を形成する上で、NIRAが果たすべき役割は大きい。

こうした認識に立ち、以下の事業を実施する。

1. 研究調査事業

2012年度の研究事業では、「国家」、「市場」、「雇用・労働」、「アジア」の4つの分野を中心に、各分野でどのような改革が求められ、これらを実現するためには何が必要となるのかに重点を置いて、グローバルな視点を踏まえつつ政策提言を行う。

(1) 国家:市場経済と民主主義

金融に牽引された市場経済は、国民の間に所得の不平等感を生み、社会の不安定化をもたらした。まさに、市場経済と民主主義をいかに修正して、経済社会のグローバル化と共存した安定した社会を構築していくべきかについて検討すべき時がきている。

なかんずく、日本経済に目を転じれば、日本は新たな成長モデルを見いだせていないなかで、財政状況は国際的にも、歴史的にも極めて悪い極限的な状況にあり、財政再建の道筋を明確化することは焦眉の急である。

このため、市場経済と民主主義において、修正すべきもの、あるいは修正すべきでないものを峻別し、修正すべきものについては、どう変更を加えていくべきかについて、幅広い知見からの議論を行う。また、財政政策、エネルギー・産業政策、農業政策、地域政策・自治、対外政策などの個別政策を、2つの大きな枠のなかで捉え直し、目指すべき姿とそれに辿り着くまでの道筋を社会に明確に提示する。

(2) 市場:信頼性の向上を通じた市場機能・競争力の維持・強化

グローバル化や IT 化を背景に、各国において市場メカニズムへの信頼が揺らいでいる。特に、日本では、今般の原発事故による官民の対応のまずさや一部企業の不祥事が世界的に問題となり、日本への信頼が損なわれている。

このため、市場メカニズムの本質を維持しつつ、その負の側面を補正するための、市場の適切な制度設計、ルール化のあり方についての検討を行う。なかでも、日本の弱みを正した上で、これまでに築き上げた無形資産(ソフトパワー)の価値を高めるために、日本は今後何を捨て、何を維持していくべきなのかを、経済学の観点から検討する。

(3) 雇用・労働:個の自律と連帯を促すための制度改革

中長期的な成長を実現するためには、既存企業から成長企業・産業への労働移動が円滑に行われる必要がある。この意味で、いわゆる終身雇用制は既に妥当性を失っている。また、労働者の側においても、自らのキャリアプランに基づき主体的に働き方を選択していくことにより、人生のオプション価値を高めていくことが求められている。

このため、関係者との検討を通じて、個々人の能力の幅を広げつつ企業・産業間での労働移動を促進するための、労働政策や労務管理のあり方についての合意形成を図る。また、自律的な労働者が様々なレベルで支え合う(連帯)ことで、高いパフォーマンスを発揮することを可能とするような社会モデルを提示する。

(4) アジア:成長力強化と安全・安心確保のための対外経済政策

高い経済成長を続けるアジア諸国と緊密かつ良好な連携関係を構築することは、日本の成長力を強化する上で、極めて重要な課題である。また、アジア地域を取り巻くインド、豪州、米国、ロシアなどとの関係を含めたアジア戦略を構築することが、地域の安定的な発展を図る上で不可欠となっている。

このため、アジアにおける広域的・重層的な国際的な関係を強化し、日本とアジア諸国の健全な発展を図るためにはどのような取組が必要となるかについて、アジア地域の将来の経済図を描きつつ多面的な検討を行う。

2. 政策論議を深めるための情報発信

日本・世界が直面する広範な政策課題について、問題の核心を分かりやすく提示する。

(1) オピニオンペーパー

震災からの力強い復興を通じて日本経済を再生するための課題について、NIRA が擁する有識者のネットワークを活用しつつ、的確かつタイムリーな政策提言を行い、世論を喚起する。

(2) 政策レビュー

研究プロジェクトに関連する政策課題について、専門家の見解や基礎的データをもとに具体的な論点を分かりやすく提示する。

(3) 理事長対談シリーズ

各界で活躍する専門家と NIRA 理事長等との対談を通じて、政策的に重要となる課題を発掘し、問題点を明らかにする。

(4) モノグラフシリーズ

内外の政策課題について多角的・多面的に調査・分析し、政策の方向性を提示する。

(5) 政策提言ハイライト

NIRA がこれまでに公表した研究報告書等のレポートから、今日の政策論議において参考となるような提言のエッセンスを抽出し、分かりやすく解説する。

(6) その他

国内政策研究機関の概要と研究成果について収集・整理した情報を「日本のシンクタンク」データベースとして公開する。